

銀行からの借入金の返済は、
税引き後の利益で返済するという
事実を知っていますか？



社長、このままでは
倒産します。

Vol.7 株式会社グリーンフリー 代表取締役
森田健太郎

それでも独立!? あとから気が付いても遅い!
独立時に借りたお金の恐ろしさ. 2

こんなに税金を納めなくてはいけないの?
えっ、利益の60%ですって?
今回も目から鱗の知識が満載。
それでも独立したいですか? その前にこのコラムを読んで、
本当にこのまま突き進んで良いかどうか判断することをおすすめします。
それではさっそく、タイトルの通り、
あとから気づいても遅い、独立時に借りたお金の恐ろしさ Part 2をお送りします。



2000万円を銀行から
借りたとします。
さて、
その返済はどうやって?

第6回では独立する際に銀行からお金を借りる場合のリース金利とリースでお店を出す場合のリース利率の違いについてお話しました。同じ2%でも大きな差があることがお分かりになったと思います。
今回は銀行からお金を借り、その返済についてのお話です。前回は利息について書きましたが、今回は話を分かりやすくするため、利息を無視させていただきます。

さて出店費用として2000万円を銀行から借り、5年間で返済する場合、1年間で返済する額は400万円です。1ヶ月に換算しますと、400万円÷12≒約33万円となるため、毎月約33万円が銀行口座から自動的に引き落としされます。自動的に引き落とされるため、ほとんどの経営者はこの返済について税引き後の利益で払っているという認識がありません。

ここが実は最も重要な部分なので、もう一度申し上げますが、「銀行からの借入金の返済」は、税引き後の利益で返済をしているということです。

税引き後!? ってなんだ?と思う人も

いると思います。よく新聞には営業利益だとか、経常利益だとか、当期利益といった記述を見たことがあるかと思えます。会社には、粗利益(粗利)、営業利益、経常利益、税引き前利益、当期利益(税引き後利益)の5つの利益があります。

世間一般的には経常利益のことを経常と呼んでおり、経常利益が大切だと思われるところがありますが、美容事業の場合、一番大切なのは営業利益です。

ただこれらの利益がそれぞれどういった意味を持つのかは経営者であれば絶対にマスターをしなければなりません。本誌では他書にも書かれていないことなので、割愛を致します。

この5つある利益のうち、銀行から借りたお金の返済は当期利益(税引

き後利益)から払っています。たとえば、たくさん利益(ここでは経常利益)が出たので銀行から借りたお金を一括で返済しても、利益が圧縮され、税金が減ることはありません。

そもそも2000万円を銀行から借りた際、まるまる2000万円が入金(印紙代等は無視)され、税金がかかっていないわけですから、返済は法人税等を払ったあとのお金、つまり税引き後の利益で支払っているのです。

現在、法人税減税が行なわれているため、法人事業税を含めると、経常利益(正確には税引き前利益。中小企業の場合は経常利益≒税引き前利益となる)がほとんど)の40%は税金として取めなければなりません。つまり銀行から借りた2000万円を返済するには、税金に40%持つていかれるため、5年間で3333万円もの利益を出さなければならないのです!



続きは本誌でお読みください



当店は消費者が求めている「健康志向」、
変わった消費動向から生かした消費動向の活用を
実践するだけだから。

「健康志向」の消費動向は、消費者が求めている「健康志向」、
変わった消費動向から生かした消費動向の活用を
実践するだけだから。

「健康志向」の消費動向は、消費者が求めている「健康志向」、
変わった消費動向から生かした消費動向の活用を
実践するだけだから。

「健康志向」の消費動向は、消費者が求めている「健康志向」、
変わった消費動向から生かした消費動向の活用を
実践するだけだから。



お名前
氏名
所属
肩書
連絡先

お問い合わせ先
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
株式会社 〇〇〇〇